

情報誌

令和3年度 第1号



はじめまして
やざき乳児保育園です！

地域の皆様、こんにちは。令和3年4月に乳児専門保育園として開園した「やざき乳児保育園」です。やざき乳児保育園は、一人一人の子どもの思いや欲求に寄り添い、愛情に満ちた応答的な関わりを大切にしています。保護者の皆様、地域の皆様に信頼され、地域に根ざした子育て支援の拠点となるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。情報誌「ありんこ」を発行し、子どもたちの様子や園の取り組みなどをお伝えすることで、地域の皆様に親しみを持っていただけるようになればと願っています。どうぞご覧いただけますようお願いいたします。



『私たち、やざき乳児保育園の大切にしていること』

～大和善隣館 理念～

『善隣のこころ』“いつでも どこでも そして
だれにでも われ等 善き隣人たらん”

- 子どもの最善の利益を考慮し、生きる力の基礎を育成します。
- 子どもと子育てに優しい社会をめざし、保護者と地域の方と協力します。

教育保育方針～ 「三つのゼン」 安全・自然・積善

- すべての子どもが『安全』にすごせる心くばりを行います。
- すべての子どもに『自然』の大切さを気づかせていきます。
- すべての子どもの『積善』への努力をみとめていきます。

自然

様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。

安全

- 健康で安全な環境を整えて子どもの様々な欲求を満たし、子ども一人一人が安心して過ごせるようにする。
- 家庭的な雰囲気の中で一人一人の子どもとの温かいふれあいを大切にし、心地よく過ごせるようにする。

積善

受容的・応答的な関わりの中で、人に対する愛情や信頼感、生きる喜びを育む。



～教育・保育目標～

心身ともに健やかな子ども

安心できる存在の保育者に見守られながら、子ども達が様々な物や事柄に興味を持って「やってみたい！」と思う気持ちを大切にしています。主体的に遊ぶことが出来るように、今、子ども達はどんな育ちをしているのか、何に興味を持っているのか等を理解し、挑戦する気持ちが持てるような環境作りも同時に行っています。

心やさしく思いやりのある子ども

保育者の応答的な関わりを通し、子ども達との絆を結んでいきます。保育者の存在が子ども達の「心の安全基地」となるような愛情を持って過ごしていきます。保育者に見守られ、安心して園での活動を存分に楽しむことができるような保育を心がけています。

豊かな感性を持った子ども

離乳食から幼児食の大切な時期を一人一人の成長に合わせた食事の形態・様々な食材を提供します。食事の時間が、「おいしい！たのしい！」と思える時間になるよう乳児保育園ならではの食育活動を考えています。

いちご組 (0歳児)



いちご組では園庭での水遊びの他にも、保育室でも水遊びの楽しさを感じられるよう、たらいの中に水を入れてパシャパシャして遊んだり、ウォーターマット（衣類圧縮袋に水とビーズを入れた物）を作り、プニョプニョした感触を楽しんだりしています。どの子ども水のひんやりとした冷たい感触に興味津々です。

★やざき乳児保育園は、0歳児～2歳児のお子さんをお預かりしています。各年齢の「なつあそび」の様子をご紹介します。

ぶどう組 (1・2歳児)

ぶどう組では、寒天や泡遊びなどいろいろな感触遊びを楽しんでいます。泡遊びをした時は、泡をすくったり、たらいの中に入って全身泡だらけになって泡の感触を楽しんでいました。最初、泡の感触を嫌がっていた子ども、友達が遊んでいる様子を見ることで少しずつ泡に興味を持って遊べるようになりました。



やざき乳児保育園では、一人一人の生活リズムに応じて授乳を行い、保護者の方と連携をとりながら離乳食から幼児食への移行を進めています。食育活動では、食材を見たり触ったり、匂いを嗅いだりと様々な感触を体験できるような活動を心がけています。また、保育室にコーナーを設けてクッキングをしたり、実際に目の前で煮たり焼いたりして様々な食べ物に興味を持てるようにしています。

布おむつを使用しています

自動化システムラインと完全滅菌消毒により、清潔で安全なリース布おむつを使用していますので安心です。赤ちゃんにも環境にも優しく、肌触りが良いおむつです。



お米とき



トマトの栽培
生長観察や収穫



トマトジャム作り



栄養士が子どもたちの目の前でトマトジャムをぬり、サンドイッチにして食べました。